

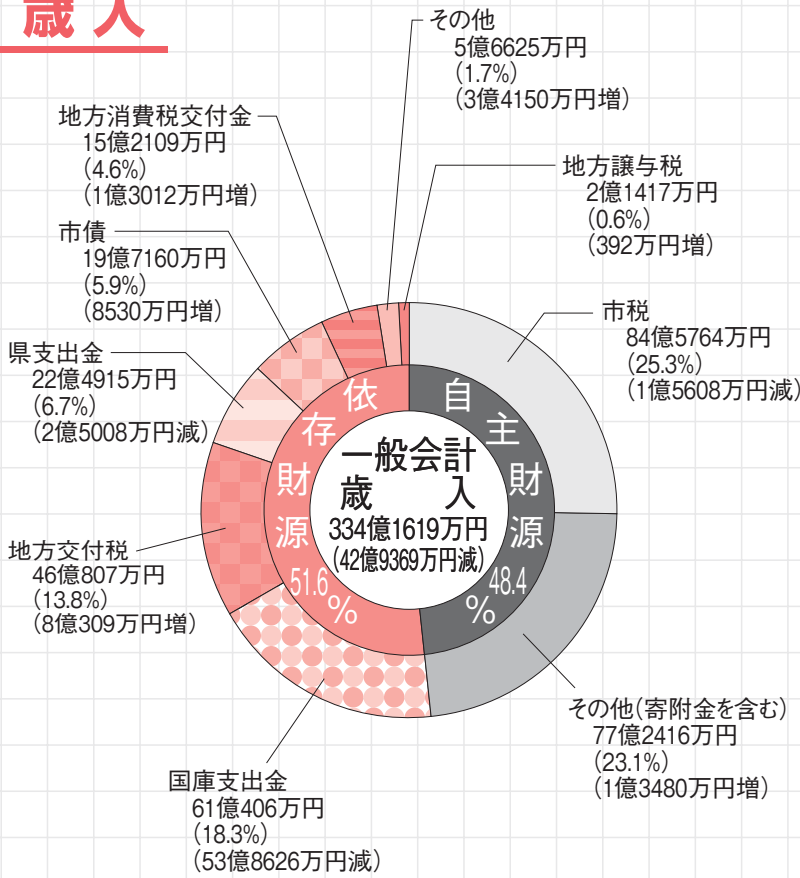
令和3年度 天童市

決算を報告します

9月の市議会定例会で、令和3年度の決算が認定されました。みなさんから納めていただいた税金や国・県からの交付金・補助金などが、どのように使われたのかをお知らせします。

歳入

一般会計



市税の内訳

区分	決算額	構成比
市民税	個人	27億6941万円 32.7%
	法人	6億7627万円 8.0%
固定資産税	37億9089万円	44.8%
軽自動車税	2億3649万円	2.8%
市たばこ税	4億3943万円	5.2%
入湯税	1554万円	0.2%
都市計画税	5億2961万円	6.3%
合計	84億5764万円	100%

歳入

市では、自主財源である市民税や固定資産税などの市税のほか、国からの地方交付税や市債などの依存財源を基に運営しています。

令和3年度の市税は84億5764万円、前年度に比べて1億5608万円減少しました。新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」という）の影響などにより固定資産税や都市計画税などが減少したことが主な要因です。依存財源のうちで最も多い国庫支出金は、前年度に比べて53億8626万円減少し、61億406万円となりました。感染症対策として支給された特別定額給付金給付費補助金の減少が主な要因です。

市の借金である市債は、市有施設の大規模改修などに取組んだため、前年度に比べて8530万円増加し、19億7160万円となりました。

ふるさと応援寄附金を含む寄附金は、前年度に比べて7億3066万円増加し、32億7297万円となりました。歳入全体としては、前年度に比べて42億9369万円減少し、334億1619万円となりました。

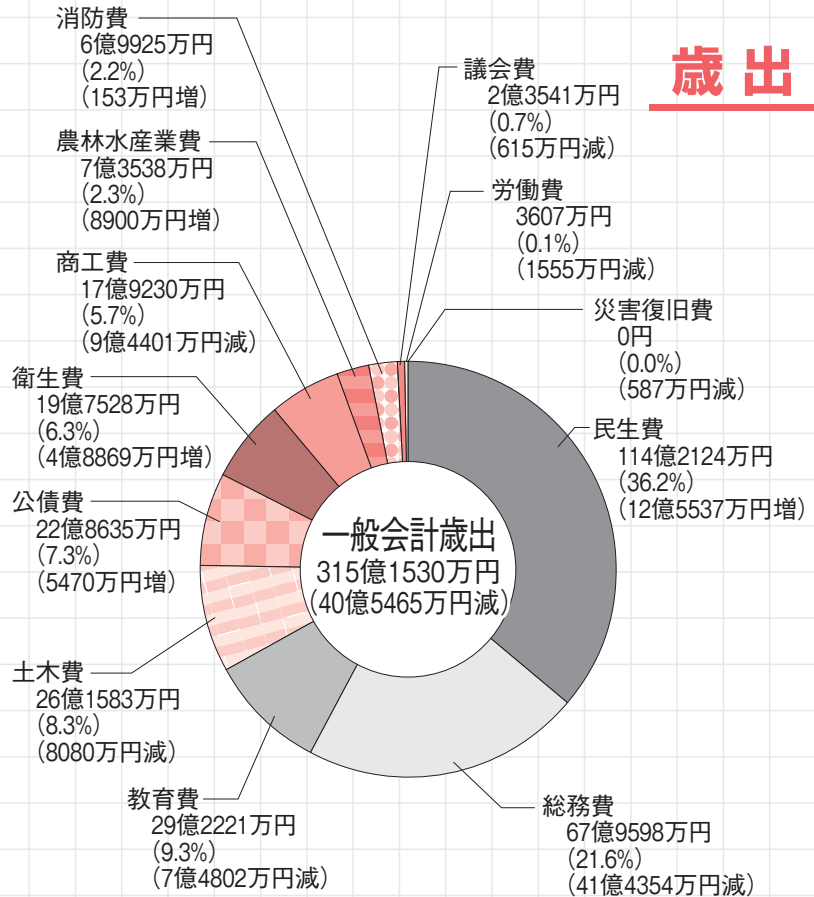
歳出

厳しい財政状況の中、事業の必要性や緊急性などを勘案しながら、感染症対策や重要事業に予算を重点的に配分しています。

科目	主な事業
民生費	住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業 3億1694万円
	子育て世帯臨時特別給付金事業 9億7557万円
	児童手当支給事業 9億4512万円
	児童扶養手当支給事業 2億4205万円
	子育て支援医療給付事業（18歳までの医療費完全無料化） 3億3333万円
	私立保育所事業 11億138万円
	認定こども園事業 7億4416万円
	障がい者自立支援給付事業 8億3033万円
	障がい児通所支援給付事業 3億9181万円
総務費	ふるさと納税推進事業 14億7526万円
	シティプロモーション推進事業 5649万円
教育費	小学校管理事業 4億5732万円
	公民館管理運営事業 1億5907万円
	美術館管理運営事業 1億7666万円
土木費	スポーツセンター管理運営事業 3億3023万円
	地方道路新設改良事業 1億9305万円
衛生費	道路管理事業 9億5902万円
	公園管理事業 2億2134万円
商工費	新型コロナウイルス感染症対策事業（ワクチン接種） 4億8038万円
	ごみ・し尿収集処理事業 3億6739万円
農林水産業費	商工業金融対策事業 12億7352万円
	新型コロナウイルス感染症対策事業（観光・飲食業等支援） 1億3655万円
消防費	農用地整備事業 1億6375万円
	果樹振興事業 9086万円
	消防団活動事業 9519万円
	常備消防活動事業 7749万円

令和3年度一般会計の歳入と歳出

歳入 334億1619万円
歳出 315億1530万円



一般会計の歳出で最も多いのは民生費で、前年度に比べて12億5537万円増加し、114億2124万円となりました。子育て世帯や住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金の増加が主な要因です。

総務費は、前年度に比べて41億4354万円減少し、67億9598万円となりました。特別定額給付金の減少が主な要因です。

教育費は、前年度に比べて7億4802万円減少し、29億2221万円となりました。山口公民館改築事業の完了や、GIGAスクール構想の実現に関する事業の減少が主な要因です。

土木費は、前年度に比べて8080万円減少し、26億1583万円となりました。前年度に引き続き豪雪に見舞われたため、除雪に多大な経費を要しましたが、天童公園もみじ園の整備終了などにより減少しました。

衛生費は、前年度に比べて4億8869万円増加し、19億7528万円となりました。新型コロナウイルスワクチン接種に係る経費の増加が主な要因です。

農工費は、前年度に比べて9億4401万円減少し、17億9230万円となりました。プレミアム付商品券事業、新・生活様式対応支援補助金の減少が主な要因です。

歳出全体としては、前年度に比べて40億5465万円減少し、315億1530万円となりました。

感染症対策に要した経費や主な事業

感染症対策に要した経費や主な事業の中で、最も大きいのが児童1人当たり10万円を給付した子育て世帯臨時特別給付金の9億7557万円です。子育て世帯への支援については、子育て世帯生活支援特別給付金を加え、約10億4000万円となっています。また、事業者支援および経済対策として、「地元愛！天童温泉お泊りキャンペーン」や「中小企業者緊急経営支援給付金」、「忘年会応援！天童大復活祭。実行委員会負担金」などに3億円を超える事業を行っています。この結果、新型コ

【コロナ禍における生活支援】	
住民税非課税世帯等臨時特別給付金	3億1694万円
【感染症防止対策】	
市庁舎、学校、保育施設などの感染防止対策	8398万円
【子育て世帯への支援】	
子育て世帯臨時特別給付金	9億7557万円
子育て世帯生活支援特別給付金	6505万円
【事業者支援および経済対策】	
地元愛！天童温泉お泊りキャンペーン	3320万円
中小企業者緊急経営支援給付金	5990万円
忘年会応援！天童大復活祭。実行委員会負担金	4180万円
商工業振興資金利子補給および保証料補給	1億6605万円

ロナウイルスワクチン接種を除く感染症対策関連事業は、総額約18億円を支出しました。

特別会計

本市における、特定の事業を実施するための7つの特別会計は全て赤字となっています。

区分	令和3年度		
	歳入 A	歳出 B	差引き A-B
一般会計	334億1619万円	315億1530万円	19億89万円
特別会計	160億4610万円	154億1400万円	6億3210万円
国民健康保険	65億8766万円	63億1930万円	2億6836万円
用地買収	247万円	32万円	215万円
財産区	102万円	29万円	73万円
介護保険	60億9314万円	57億6054万円	3億3260万円
市民墓地	911万円	657万円	254万円
後期高齢者医療	8億69万円	7億7667万円	2402万円
工業団地整備事業	25億5201万円	25億5031万円	170万円
合計	494億6229万円	469億2930万円	25億3299万円

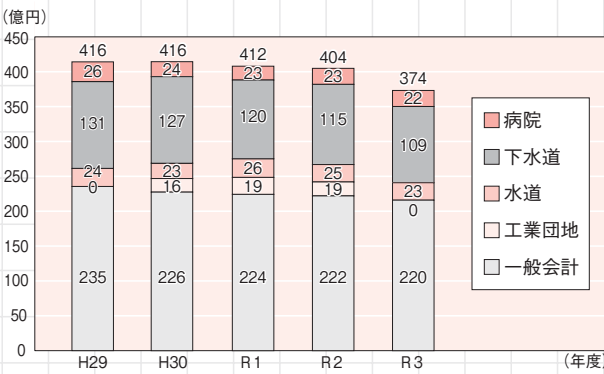
財政状況

全ての会計において、市債が前年度より減少しました。この結果、市債残高の合計は、前年度に比べて30億1398万円減少し、373億6808万円となりました(A)。

市債に関する指標である実質公債費比率は数値が減少し、将来負担比率は昨年引き続き算定されず、健全財政を維持できています(B)。

また、財政の力強さを示す財政力指数は、市税が減少したことなどによってやや悪化しました。一方、財政構造の弾力性を示す経常収支比率は、地方交付税などの増加により数値が改善しました(C)。

A 各会計の市債残高の推移



C 財政指数

	令和3年度	令和2年度
財政力指数 ※数値が大きいほど財政は力強い。1を超えると普通交付税の不交付団体。	0.687	0.703
経常収支比率 ※数値が低いほど財政構造の弾力性は高い。	83.4%	89.9%

B 健全化判断比率

	令和3年度	令和2年度	早期に健全化の対策が必要な基準
実質赤字比率	—	—	12.81%
連結実質赤字比率	—	—	17.81%
実質公債費比率	4.1%	4.4%	25.0%
将来負担比率	—	—	350.0%

企業会計

水道事業会計

水道事業において、収益的収支では、前年度に比べて、給水使用料の減少により事業収益が減少し、施設の修繕費などの増加により事業費用が増加しました。

また、資本的収支では、前年度に比

水道事業収益的収入および支出(税込み)	
	令和3年度
水道事業収益	16億4322万円
営業収益	14億7335万円
営業外収益	1億6977万円
特別収益	10万円
水道事業費用	13億6363万円
営業費用	13億646万円
営業外費用	5660万円
特別損失	57万円
差引き	2億7959万円

水道事業資本的収入および支出(税込み)	
	令和3年度
資本的収入	2854万円
加入金	1349万円
企業債	0円
負担金	1470万円
固定資産売却代金	35万円
資本的支出	7億7089万円
建設改良費	6億1595万円
固定資産取得費	475万円
企業債償還金	1億5019万円
差引き	▲7億4235万円

べて、加入金の減収により資本的収入が減少し、施設整備費用の減少により資本的支出が減少しました。

公共下水道事業会計

公共下水道事業において、収益的収支では、前年度に比べて、下水道使用料の増加により事業収益が増加し、利息の支払額の減少により事業費用が減少しました。

公共下水道事業収益的収入および支出(税込み)	
	令和3年度
下水道事業収益	17億4615万円
営業収益	11億8209万円
営業外収益	5億6406万円
下水道事業費用	15億4424万円
営業費用	13億1992万円
営業外費用	2億2398万円
特別損失	34万円
差引き	2億191万円

公共下水道事業資本的収入および支出(税込み)	
	令和3年度
資本的収入	7億1318万円
企業債	3億5500万円
他会計出資金	2億2059万円
国庫補助金	9504万円
負担金	3801万円
固定資産売却代金	454万円
資本的支出	14億4198万円
建設改良費	4億7071万円
企業債償還金	9億7127万円
差引き	▲7億3246万円

※差引きは、資本的収入のうち令和4年度に繰越される366万円を除く。

また、資本的収支では、前年度に比べて、企業債の借入の減少により資本的収入が減少し、建設改良費の減少により資本的支出が減少しました。

天童市民病院事業会計

天童市民病院事業において、収益的収支では、前年度に比べて、事業収益が増加し、退職給付費や薬品費などの減少により事業費用が減少しました。

病院事業収益的収入および支出(税込み)	
	令和3年度
病院事業収益	19億9207万円
医業収益	15億4371万円
医業外収益	4億4836万円
病院事業費用	16億5236万円
医業費用	15億5792万円
医業外費用	9444万円
差引き	3億3971万円

病院事業資本的収入および支出(税込み)	
	令和3年度
資本的収入	1億6421万円
一般会計負担金	1億5491万円
企業債	900万円
補助金	30万円
資本的支出	1億6421万円
建設改良費	3066万円
企業債償還金	1億3355万円
差引き	0円

また、資本的収支では、前年度に比べて、企業債の借入の減少により資本的収入が減少し、建設改良費の減少により資本的支出が減少しました。

持続可能な財政運営を

このように、令和3年度の一般会計や特別会計では、黒字の決算になるとともに、企業会計についても資金不足が生じないなど、健全財政の堅持に努めました。

感染症の影響により、市税収入がやや減少しましたが、国庫支出金などを活用してさまざまな感染症対策を実施したほか、第七次天童市総合計画の各種施策を推進することができました。今後は、施設の長寿命化に伴う大規模改修や社会保障関係経費の増加などにより、市の財政状況は厳しさを増していくものと予想されますが、今後とも、効率的かつ効果的な財政運営に努めることで、持続可能な財政運営に取り組んでいきます。

▼問合せ

。市財政課

(☎ 654局 1111 内線 342)

。市上下水道課

(☎ 654局 1111 内線 442)

。天童市民病院

(☎ 654局 2511)